

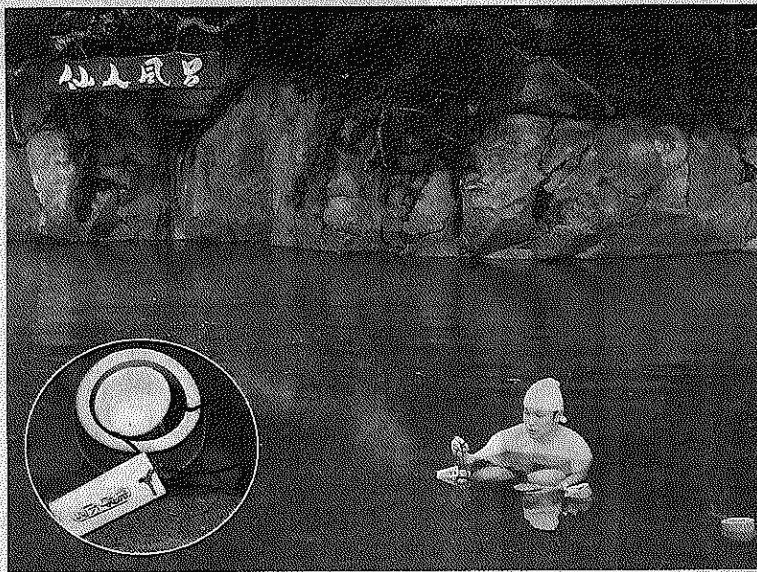
H22. 12. 17 付

紀南新聞

「手持ちあかり」で入浴を

本宮町
商工会

仙人風呂に一層の風情



「手持ちあかり」(写真の円内)で仙人風呂に入浴

田辺市の本宮町商工会(泉庄治会長)は、熊野本宮エコ遊記」として全国展開している事業フレームの発表を15日、川湯温泉富士屋旅館で実施した。同会は、過去にささ祭り、ススキ祭り、川湯温泉探検隊などをフレ事業として展開してきたが、今回は「川湯温泉あかりプロジェクト」(自然を大切に感じていただく新規事業)として、同温泉の「仙人風呂」入浴客が、一層風情を楽しめるよう「手持ちあかり事業」を実施することになった。午後3時から始まった

発表会には泉会長とともに外部コーディネーターとして沢崎聡氏も出席。泉会長は事業計画として「熊野本宮エコ遊記」プランの策定や、「熊野本宮エコナイト」構想などを、熱っぽく話した。「手持ちあかり」は竹筒にろうそくを灯(とも)したものの。沢崎氏は「本宮町には熊野古道以外にも、古道から見て美しい自然があるので、観光客に説明できる場所を創出してほしい」と話し、「世界遺産の熊野古道を見て帰るだけでなく、来たいと思わ

せる自然の創出を」と希望した。

この後、仙人風呂に移動し、水かさが増している仙人風呂で「手持ちあかり」で入浴する実験を実施。幻想的な雰囲気醸し出した。

「手持ちのあかり」の問い合わせは同商工会(電話07355④0269番)。